

第 77 回評価監視委員会の開催について

第 77 回一般財団法人建設物価調査会評価監視委員会が開催されましたので、議事概要について、お知らせいたします。

開催日時	2026 年 1 月 28 日（水）14:00～16:00	
開催場所	一般財団法人建設物価調査会 会議室	
出席委員 (五十音順)	高橋省三（委員長：名古屋経済大学大学院法学研究科 講師 [元公正取引委員会 近畿中国四国事務所長]） 鵜飼 誠（元会計検査院 第1局長） 古賀純子（芝浦工業大学建築学部 建築学科教授） 五艘隆志（東京都市大学建築都市デザイン学部 都市工学科准教授） 佐藤 淳（東邦監査法人 代表社員、公認会計士）	
当会	建築調査部 高橋 俊一、岩井 卓矢、柴田 洋毅、木村 みさき 第二土木調査部 上田 浩嗣、沖田 智紀、佐高 俊彦、水谷 直樹 調査統括部 大澤 勝、平野 光芳 監査審査室 黒澤 昭浩、勝井 治	
審議案件	案件	備考
	(定期調査) 床タイルカーペット張り（内装床 工事・東京）	「建築コスト情報」2025 年 10 月号 30 ページの掲載価格について、調査 結果記録票、調査結果集計表等に基 づき、調査方法、調査プロセス等を 説明
	(受託調査) トンネル非常用設備	受託調査について、調査結果集計 表、調査報告書等に基づき、調査方 法、調査プロセス等を説明
委員からの主な意見・質問 それに対する調査会から の回答等	別紙のとおり	
委員会による指摘 (不適切な点又は改善すべき点)	なし	

意見・質問	説明・回答
<p>1. 定期調査について 床タイルカーペット張り（内装床工事・東京）</p> <p>○建築工事市場単価の本施行から20年以上が経過するが、仕様などの変化に対応しているのか。</p> <p>○共同住宅において床タイルカーペットはどこに設置されるのか。</p> <p>○調査票にて回答が得られなかった規格については、どのように対応したのか。</p> <p>○内装材については高級品から廉価品まで仕様の幅が広いとの認識があるが、物件の特性や用途に起因した価格差は生じないのか。</p> <p>○規格間格差及び都市間格差についてはどのように確認したのか。</p> <p>○市場単価と標準施工単価の主な差異は、また両者で価格動向は異なるのか。</p>	<p>○国土交通省が定める『公共建築工事標準仕様書（建築工事費編）』の改定などを踏まえ、随時、仕様などの変化には対応している。</p> <p>○共用廊下や集会所に設置されることがある。</p> <p>○「面接調査」および「電話調査」により補完を行った。</p> <p>○本調査（市場単価の仕様）では物件の特性や用途による大幅な価格差は特になかった。</p> <p>○規格間格差についてはヒアリングにより、都市間格差についてはヒアリングに加えて『公共工事設計労務単価』における内装工の都市間格差も踏まえ、確認した。</p> <p>○工事において主に使用される規格が市場単価に該当し、価格動向は同じである。</p>

意見・質問	説明・回答
<p>2. 受託調査について トンネル非常用設備</p> <p>○機器構成のうち、一部品目のみについて調査依頼が来ているがよくあるケースなのか。</p> <p>○公共工事において、トンネル非常用設備の安全基準は存在するのか。</p> <p>○比較検証材料にした過去類似データは調査会が調査したデータか。</p> <p>○一部品目しか回答できない調査対象者を選定する必要があるのか。</p> <p>○トンネル非常用設備については、新設工事において納入したメーカーが更新工事においても納入する可能性が高いのか。</p>	<p>○発注者側の都合によるがケースバイケースである。</p> <p>○国土交通省では安全基準を定めている。</p> <p>○過去類似データは弊会が調査したデータである。</p> <p>○調査を進める中でのヒアリングにより、判明した結果であるが、一部品目の妥当性比較に活用できる場合もある。</p> <p>○仕様や現場条件の詳細を把握しているため、納入する可能性が高い。</p>
<p>3. 次回開催日について</p> <p>○次回評価監視委員会は、2026年6月に開催予定。</p>	